

コブリス・プラス操作説明会資料 (受注者様向け)

2026年2月

(一財) 日本建設情報総合センター (JACIC)
建設副産物情報センター

- P.2 初めに
- P.5 計画書の作成
 - ・工事情報の入力
 - ・建設資材利用の入力
 - ・建設副産物搬出(建設発生土含む)の入力
- P.19 データチェックとチェック結果の確認
- P.20 発注者へのデータ提出
- P.21 提出した計画書の確認
(休憩 5分)
- P.22 実施書の作成、提出
- P.26 提出した計画書や実施書を修正する(改版の操作)
- P.28 処理施設の検索
- P.32 その他機能
 - ・建設発生土機能
 - ・官民マッチング
 - ・取りまとめID
 - ・コブリス・プラスAPI
- P.36 最後に

コブリス・プラスでは、従来のコブリスからは画面が大幅に変わったこともあり、利用者の方からは操作に関するご質問を多くいただいております。

この操作説明会では、コブリス・プラスの解説を交えながらご参加者様にも実際に画面操作をしていただくことで、コブリス・プラスへの理解を深めてもらうことを目的としています。

本説明会では、資料を基に画面での操作手順や入力について説明をします。皆様も実際の画面で入力を行ってみてください。

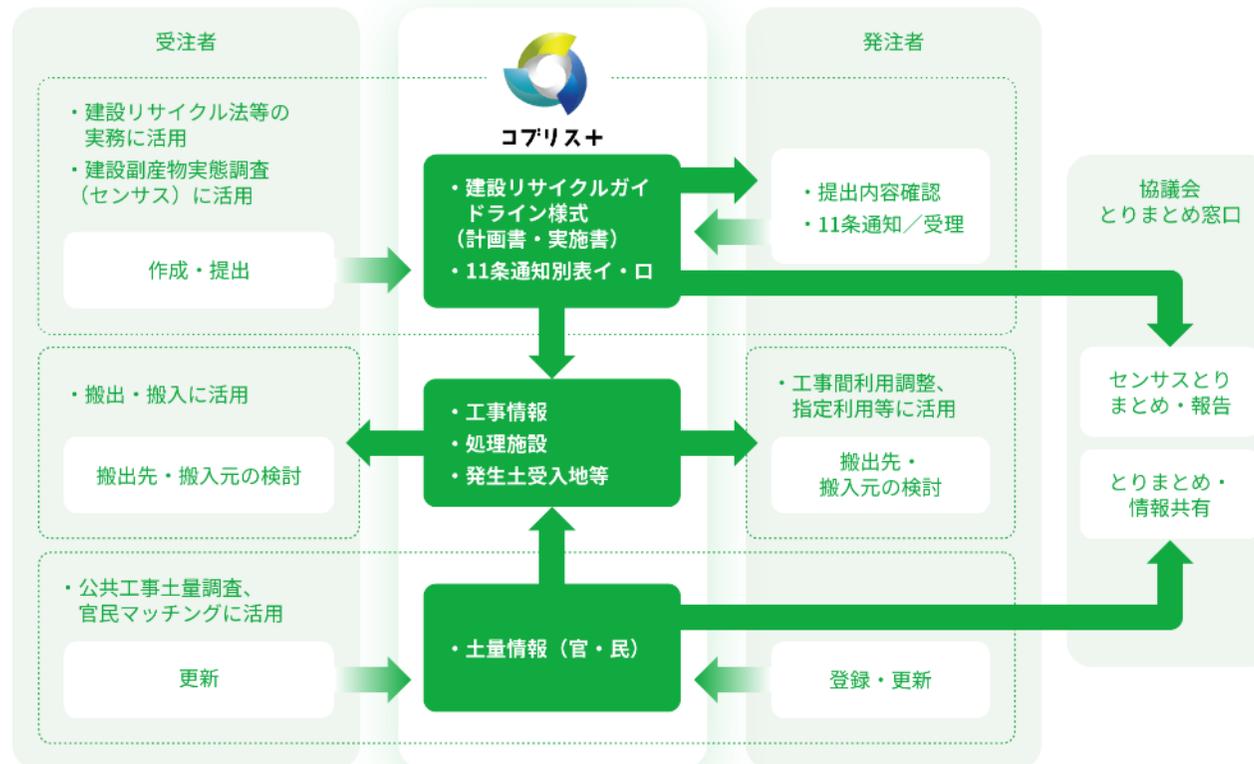
■配布資料

- ・コブリス・プラス操作説明会資料(受注者様向け)
- ・計画書作成時の入力例

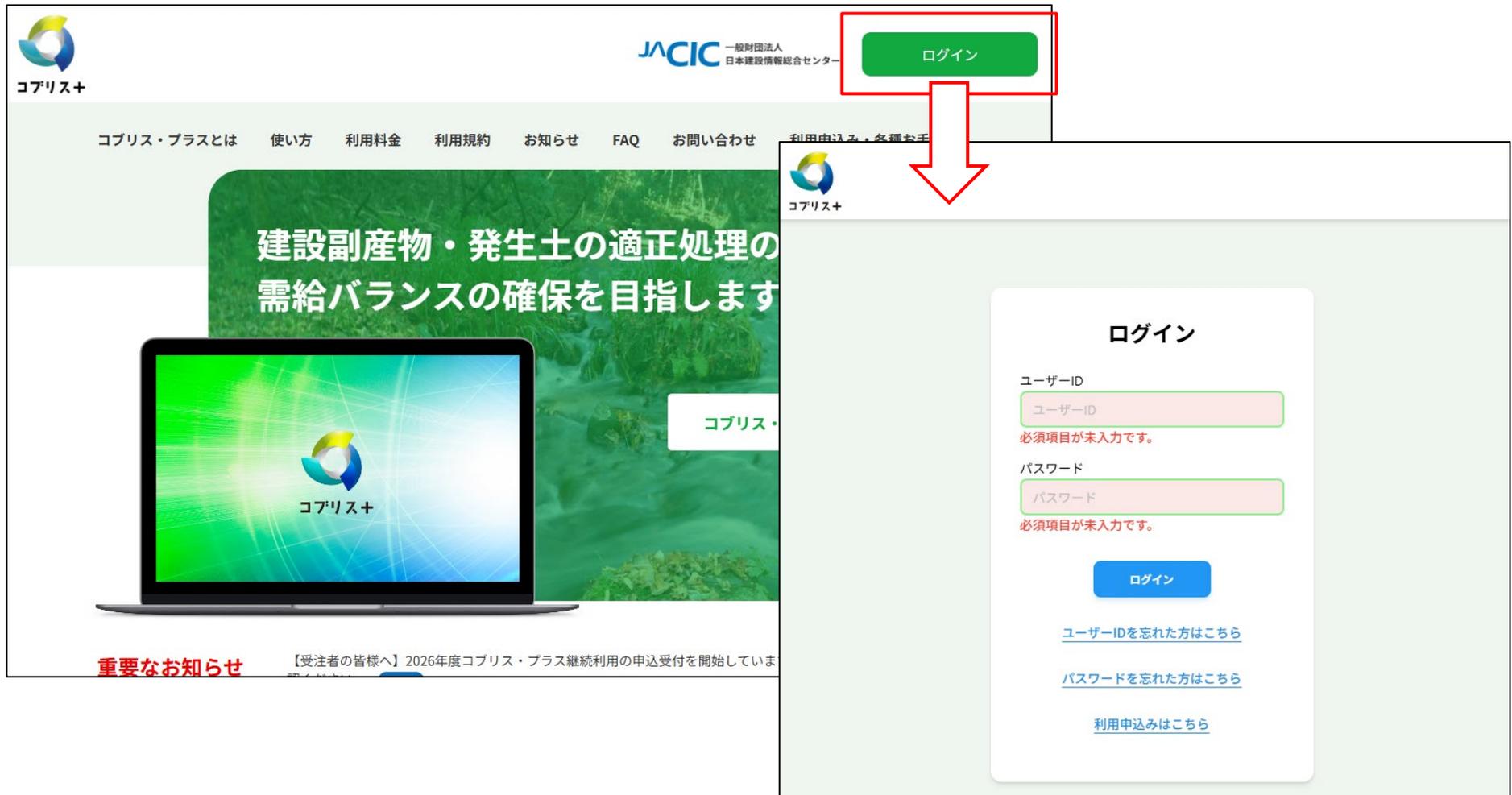
操作や入力でお困りごとや不明点がありましたら、挙手をしていただければお近くの係員がお伺いします。

なお、本日の記録用として、説明会中の様子を写真撮影させていただきます。後方から会場全体の様子や雰囲気を中心に撮影いたしますが、予めご了承くださいませようお願いいたします。

コブリスは、2025年5月7日にコブリス・プラスとしてリニューアルしました。
 「コブリス・プラス」は、建設副産物情報および建設発生土情報を異なる利用者間で共有するために、JACICが運営する情報サービスです。
 国等が公共工事を発注する際に建設副産物や建設発生土に関するデータの登録等を求めている「建設副産物情報交換システム」および「建設発生土情報交換システム」に対応しています。
 さらに、公共・民間工事間での建設発生土の相互利用に活用できる「建設発生土の官民有効利用マッチング(官民マッチング)」も一体化しており、同じIDで利用することができます。



コブリス・プラスを利用するには、サービスへのログインが必要です。
 コブリス・プラスのWEBサイトにあるログインボタンをクリックし、
 ログイン画面でユーザーIDとパスワードを入力してください。
 ユーザーIDとパスワードを取得するには、利用申込みの手続きが必要です。



コブリス+

JACIC 一般財団法人 日本建設情報総合センター

ログイン

コブリス・プラスとは 使い方 利用料金 利用規約 お知らせ FAQ お問い合わせ 利用申込み・各種お手続き

建設副産物・発生土の適正処理の
 需給バランスの確保を目指します

コブリス+

コブリス+

重要なお知らせ 【受注者の皆様へ】 2026年度コブリス・プラス継続利用の申込受付を開始しています

ログイン

ユーザーID

 必須項目が未入力です。

パスワード

 必須項目が未入力です。

ログイン

[ユーザーIDを忘れた方はこちら](#)

[パスワードを忘れた方はこちら](#)

[利用申込みはこちら](#)

ここからは、コブリス・プラスの画面上での操作手順を説明します。

「計画書作成時の入力例」も参考にしながら一緒に操作を行ってみてください。
表示されている画面は、コブリス・プラスにログインした後のメインメニューの画面です。



【テスト】 副産物センター [使い方](#) [ログアウト](#) [各種お手続き](#)

コブリス+

建設リサイクル・ガイドライン様式の作成・提出・提出後の変更

- ・施工計画作成時
 - ・ [計画書を新たに作成する](#)
 - ・ [類似工事のデータを活用し、計画書を作成する](#)
 - ・ [作成途中の計画書を確認・更新する](#)
 - ・ [計画書を発注者に提出する](#)
(民間工事の場合は、正式な工事データとして登録)
- ・計画書の提出後
 - ・ [発注者へ提出済の計画書を確認する](#)
 - ・ [発注者からの問い合わせがあった計画書を確認する](#)
- ・工事が完了したら
 - ・ [提出済の計画書から実施書を作成する](#)
 - ・ [実施書を新たに作成する \(計画書が無い場合\)](#)
 - ・ [作成途中の実施書を確認・更新する](#)
 - ・ [実施書を発注者に提出する](#)
(民間工事の場合は、正式な工事データとして登録)
- ・実施書の提出後
 - ・ [発注者へ提出済の実施書を確認する](#)
 - ・ [発注者からの問い合わせがあった実施書を確認する](#)
- ・ [担当工事データを確認する](#)

建設発生土情報の更新を指示されている

- ・ [発注者から指示された工事を自社の担当工事として紐付ける](#)
※発注者から受信したメール内のURLをクリックできなかった場合はメール本文中の認証コードをこちらから入力して、対象工事を確認し、自社の担当工事として紐付けてください。
- ・ [施工計画上の数量を反映](#)
- ・ [搬出搬入実施後の数量を変更・報告](#)
- ・ [担当工事データを確認する](#)

建設副産物・建設発生土 搬出搬入計画

【テスト】副産物センター
使い方 ログアウト 各種お手続き

建設リサイクル・ガイドライン様式の作成・提出・提出後の変更

- ・施工計画作成時
 - ・計画書を新たに作成する
 - ・類似工事のデータを活用し、計画書を作成する
 - ・作成途中の計画書を確認・更新する
 - ・計画書を発注者に提出する
(民間工事の場合は、正式な工事データとして登録)
- ・計画書の提出後
 - ・発注者へ提出済の計画書を確認する
 - ・発注者からの問い合わせがあった計画書を確認する

建設発生土情報の更新を指示されている

- ・発注者から指示された工事を自社の担当工事として紐付ける
※発注者から受信したメール内のURLをクリックできなかった場合はメール本文中の認証コードをこちらから入力して、対象工事を確認し、自社の担当工事として紐付けてください。
- ・施工計画上の数量を反映
- ・搬出搬入実施後の数量を変更・報告
- ・担当工事データを確認する

建設副産物・建設発生土 搬出搬入計画

- ・処理施設等の搬出先・搬入元を調べる

建設副産物実態調査（センサス）・モニタリング調査のデータを管理する

- ・分析（集計表の出力）

メインメニューは左側は主に副産物関連のメニューになります。右側は発生土関連のメニューです。

今回は「再生資源利用(促進)計画書」を作成するため、「計画書を新たに作成する」をクリックしてください。

建設リサイクル・ガイドライン様式の作成・提出・提出後の変更

- ・施工計画作成時
 - ・計画書を新たに作成する
 - ・類似工事のデータを活用し、計画書を作成する
 - ・作成途中の計画書を確認・更新する
 - ・計画書を発注者に提出する
(民間工事の場合は、正式な工事データとして登録)
- ・計画書の提出後



計画書を作成するための「工事情報(副産物)」の画面が表示されます。この画面では、工事に関する共通情報、発注機関、企業情報、工事概要といった基本的な情報を入力します。

◎解説:必須項目について
項目名に「*」が付いている項目は、必須項目です。必須項目は入力欄も赤くなっています。

◎解説:入力できない項目について
グレーになっている項目は自動で情報が入力されます。手動で入力することはできません。



◎解説:「債務負担工事」について

債務負担工事とは、複数年度にまたがって発注される工事です。「債務負担工事」の項目にチェックを入れると、債務負担工事として登録されます。債務負担工事では、実施書を各年度ごとに作成・提出することができるようになります。債務負担工事として登録するかは、発注者にご確認ください。

■ 共通情報

作成年月日

債務負担工事 ゼロ債務負担工事の場合は基本的にチェック不要ですが、発注者にご確認ください

◎解説:「発注機関」について

作成した計画書は、コブリスプラス上で発注機関に提出することができます。計画書を作成する際に選択した「発注機関」が誤っていると、提出された計画書を発注機関側で確認することができません。発注機関の選択に誤りが無いようご確認ください。

■ 発注機関

発注機関 *

発注者名称

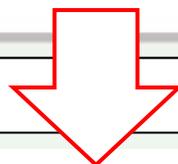
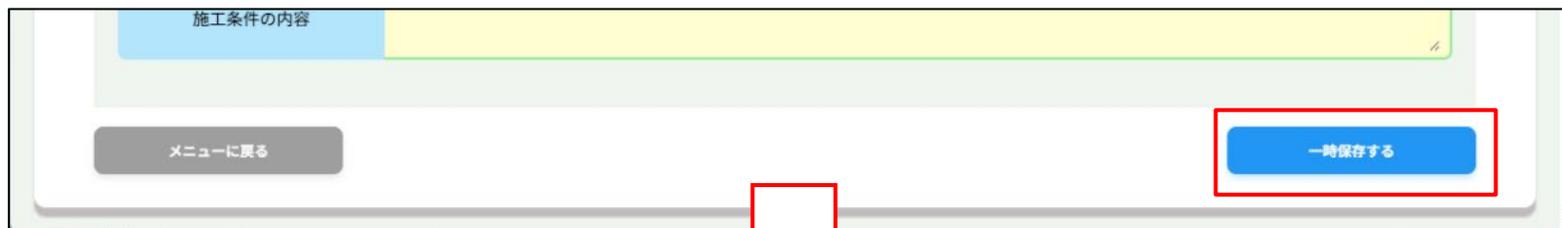
◎解説:「企業情報(請負会社)」について

「ユーザー情報よりコピー」をクリックすると、企業名や所在地はユーザー情報から反映され、入力を省略することができます。

■ 企業情報 (請負会社)

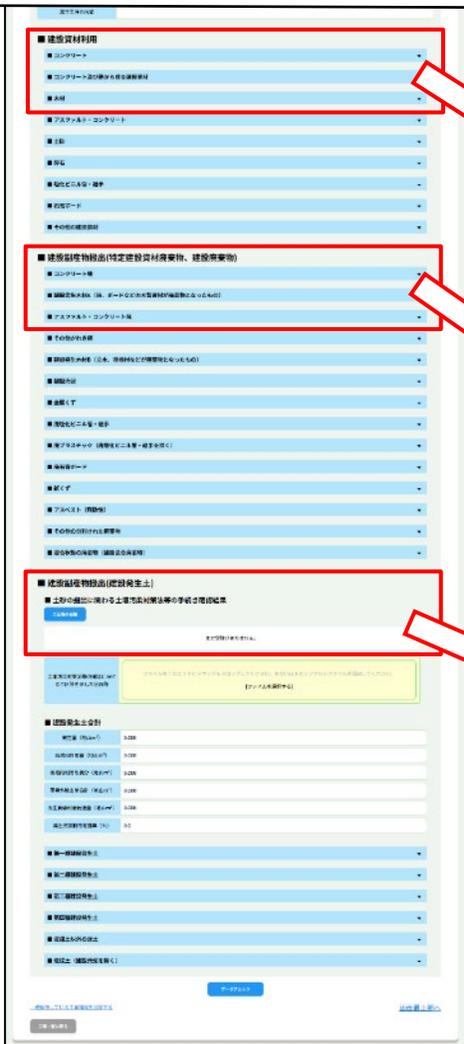
企業名 * 例: (株) ○○建設

入力が完了したら画面下の「一時保存する」をクリックしてください。
 入力内容が保存され、タイトルが工事件名に変わります。
 また、このタイミングで工事番号が発行されます。
 工事番号は登録工事を一意に特定する情報ですので、発行された工事番号は変更することはできません。





一時保存を行うと、工事情報の下に新しく入力項目が表示されます。
 工事で利用する建設資材や、発生する建設副産物の搬出に関する情報を入力する項目で、各品目ごとに入力できるようになっています。
 必要に応じてそれぞれの項目に入力してください。
 対応する品目が無い場合には、「その他の建設資材」や「その他の分別された廃棄物」に入力してください。



■ 建設資材利用

- コンクリート
- コンクリート及び鉄から成る建設資材

■ 建設副産物搬出(特定建設資材廃棄物、建設廃棄物)

- コンクリート塊
- 建設発生木材A (柱、ボードなどの木製資材が廃棄物となったもの)

■ 建設副産物搬出(建設発生土)

■ 土砂の搬出に関わる土壌汚染対策法等の手続き確認結果

[工区等の追加](#)

まだ登録がありません。

建設資材利用について、碎石の入力を例に解説します。
品目の「碎石」から、追加ボタンをクリックすると入力画面が表示されます。

建設資材利用 碎石

小分類*	クラッシャーラン
規格	例：20mm
主な利用用途	
利用量 (m ³)*	100.000
再生資材名称	再生クラッシャーラン
再生資材利用量 (m ³)	100.000
再生資材の供給元施設、 工事名	例：○○工事、○○施設、○○会社等
供給元種類*	現場内利用
供給元所在地	
都道府県*	東京都
市区町村*	港区
地先	例：赤坂5-2-20
施工条件内容	
再生資源利用率 (%)	100.0

キャンセル
データチェック
確定する

最初に「小分類」で碎石の種類を選択します。
再生資材を利用している場合には、再生資材利用量や供給元など、再生資材に関する情報も入力してください。

入力が完了した後は、「データチェック」をクリックしてエラーが無いことを確認し、「確定する」をクリックして登録を確定してください。

◎解説:「現場内利用」について

工事で発生した建設副産物を、同じ工事で再利用している場合には、供給元種類は現場内利用となります。現場内利用では、供給元所在地と施工場所が一致している必要があります。また、建設副産物の搬出でも、対応する「現場内利用情報」の入力が必要です。

◎解説:自動入力される情報を変更したい場合

「再生資材名称」や「再生資源利用率」は自動で入力され、手動で変更することはできません。「再生資材名称」は「小分類」によって決まります。また、「再生資源利用率」は、「利用量」と「再生資材利用量」の割合によって自動で計算されます。自動入力される情報を変更したい場合には、元になっている「小分類」や「利用量」、「再生資材利用量」を変更してください。

建設副産物搬出について、アスファルト・コンクリート塊の入力を例に解説します。
品目の「アスファルト・コンクリート塊」から、現場内利用情報と現場外搬出情報について、それぞれ入力することができます。

■ アスファルト・コンクリート塊

■ 現場内利用情報
編集

発生量 (トン)	0.000
用途	
現場内利用量 (トン)	0.000
現場内利用改良分 (トン)	0.000
現場外搬出合計 (トン)	0.000
再生資源利用促進量 (トン)	0.000
再生資源利用促進率 (%)	0.0

■ 現場外搬出情報
追加

まだ登録がありません。

現場外搬出 アスファルト・コンクリート塊

搬出先名称	
搬出先住所	
都道府県 *	▼
市区町村 *	▼
地先	
区分	▼
施工条件	▼
搬出先種類 *	▼
運搬距離 (km) *	例: 5
現場外搬出量 (トン) *	例: 1.015
改良分 (トン)	0.000

キャンセル

データチェック

確定する

建設副産物として発生したアスファルト・コンクリート塊を現場内利用した場合には、現場内利用情報を入力してください。
「編集」ボタンをクリックすると、入力ができるようになります。

現場内利用した用途や利用量を入力しますが、グレーの項目は現場外搬出も含めた値が自動計算で反映ます。
入力が完了したら、「更新」ボタンをクリックして入力内容を反映してください。

■ アスファルト・コンクリート塊

■ 現場内利用情報

発生量 (トン)	0.000
用途	
現場内利用量 (トン)	0.000
現場内利用改良分 (トン)	0.000
現場外搬出合計 (トン)	0.000
再生資源利用促進量 (トン)	0.000
再生資源利用促進率 (%)	0.0

編集

■ アスファルト・コンクリート塊

■ 現場内利用情報

発生量 (トン)	100.000
用途 *	路盤材
現場内利用量 (トン)	100.000
現場内利用改良分 (トン)	0.000
現場外搬出合計 (トン)	0.000
再生資源利用促進量 (トン)	0.000
再生資源利用促進率 (%)	100.0

キャンセル 更新

◎解説:「現場内利用情報」について

建設資材利用で現場内利用を入力している場合は、建設副産物搬出で対応する現場内利用情報の入力が必要です。

現場外に搬出した場合には、現場外搬出情報を入力してください。「追加」ボタンをクリックすると、入力画面が表示されます。

現場外搬出		アスファルト・コンクリート塊	
搬出先名称	〇〇処理施設		
搬出先住所			
都道府県 *	東京都		
市区町村 *	港区		
地先	赤坂		
区分	民間		
施工条件	1.指定利用等A		
搬出先種類 *	中間処理施設 (アスファルト合材プラント)		
運搬距離 (km) *	10		
現場外搬出量 (トン) *	200.000		
改良分 (トン)	0.000		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> キャンセル データチェック 確定する </div>			

建設副産物の搬出先となる、処理施設や他工事の情報、搬出した数量等を入力してください。入力が完了した後は、「データチェック」をクリックしてエラーが無いことを確認し、「確定する」をクリックして登録を確定してください。

◎解説:個別入力画面での「データチェック」について
個別入力画面で行う「データチェック」は、必須項目の未入力などを確認する簡易なチェックになります。作成した計画書データについてのデータチェックは、この後に別途行う必要があります。

建設発生土の搬出においても他の建設副産物と同様の手順で入力を行いますが、建設発生土を現場外に搬出する場合には、土壌汚染対策基本法等や盛土規制法に関する確認結果を入力する必要があります。コブリス・プラスは資源有効利用促進法 省令改正(第二弾)に対応しており、関連項目の入力を行うことで、確認結果票も合わせて作成することができます。

(参考:国土交通省WEBサイト)建設発生土の搬出先計画制度

https://www.mlit.go.jp/tochi_fudousan_kensetsugyo/const/tochi_fudousan_kensetsugyo_const_fr1_000001_00041.html

上記WEBサイト内の以下もご参照ください。

- ・別添2 確認結果票作成に当たっての解説(様式を含む)(令和7年3月版)
- ・建設工事から発生する土の搬出先の明確化等(令和6年6月更新)

土壌汚染対策法等の手続き確認フロー

工区等 *

これまでに土壌汚染対策法等に関する手続きが行われているか
〔土壌汚染対策法第3条・第4条・第5条・第14条関係及び都道府県の土壌汚染に関する条例〕

はい いいえ

〔土壌汚染対策法第6条第1項、第11条第1項〕
手続きの結果、土壌汚染対策法に基づき既に区域指定されている
(区域指定の手続き中含む)

はい いいえ

本工事に関して、都道府県等へ土壌汚染対策法又は都道府県等の土壌汚染に関する条例に基づき、汚染土壌の区域外への搬出に関する届出を行っているか(汚染土壌の区域外への搬出が無い場合は、その旨を確認したか)

はい いいえ 前の質問へ戻る

キャンセル 更新する

現場外搬出 第一種建設発生土

施工条件 *	1.指定利用等A
搬出先種類 *	ストックヤード(工事予定地含む)(再利用の目的がある)(国登録ストックヤード)
盛土規制法の確認 *	盛土許可等
都道府県等の定める土砂条例の確認 *	許可不要工事等
盛土規制法、土砂条例による搬出先の適正確認結果 * ※詳細はこちら	盛土許可等
搬出先詳細 *	盛り土規制法第21条届出 令和7年12月1日(東京都) 国土交通省登録ストックヤード第00000000-00000000号
運搬距離(km) *	10
現場外搬出量(地山m ³) *	200.000
改良分(地山m ³)	0.000

キャンセル データチェック 確定する

「土砂の搬出に関わる土壤汚染対策法等の手続き確認結果」の項目は、建設発生土を現場外に搬出する際に入力が必要になります。

発注者等が行った手続きを確認し、その結果を「はい/いいえ」で選択しながら入力します。

入力した結果で確認フロー※が作成され、計画書と一緒に「確認結果票」として出力することができます。

「確認結果票」は計画書と合わせて現場掲示が必要です。

※コブリス・プラスの確認フローは、国土交通省で公開されている最新版には対応していませんが、確認フローとしては問題ありません。
最新版への対応は2026年3月頃を予定しております。

■ 建設副産物搬出(建設発生土)

■ 土砂の搬出に関わる土壤汚染対策法等の手続き確認結果

工区等の追加

|まだ登録がありません。|

土壤汚染対策法等の
確認における工区等
を示した図面等

ファイルをこのエリアにドラッグ&ドロップしてください。あるいは下のリンクからファイルを選択してください。

[ファイルを選択する]

土壤汚染対策法等の手続き確認フロー

工区等*

これまでに土壤汚染対策法等に関する手続きが行われているか
(土壤汚染対策法第3条・第4条・第5条・第14条関係及び都道府県の土壤汚染に関する条例)

はい

いいえ

(土壤汚染対策法第6条第1項、第11条第1項)
手続きの結果、土壤汚染対策法に基づき既に区域指定されている
(区域指定の手続き中含む)

はい

いいえ

本工事に於いて、都道府県等へ土壤汚染対策法又は都道府県等の
土壤汚染に関する条例に基づき、汚染土壌の区域外への搬出に関
する届出を行っているか(汚染土壌の区域外への搬出が無い場合
は、その旨を確認したか)

はい

いいえ

前の質問へ戻る

キャンセル

更新する

◎解説:「工区等」と工区等を示した図面等のファイルについて

・工区が1つ、もしくは工区ごとの手続きの確認結果が同じ場合

工区の登録は1つとし、図面等の添付は不要です。

工区等には任意の名称を入力してください。

・工事現場で工区が複数あり、工区ごとで手続きの確認結果が異なる場合

それぞれの工区ごとに確認結果を登録してください。

工事現場のそれぞれの工区が分かるよう、図面等の添付が必要になります。

建設発生土の搬出について、第一種建設発生土の入力を例に解説します。
建設発生土も現場内利用情報と現場外搬出情報について入力することができますが、
現場内利用情報の入力は、アスファルト・コンクリート塊と大きくは変わりません。

ここでは建設発生土の現場外搬出情報の入力について解説をします。
「追加」ボタンをクリックすると、入力画面が表示されます。

■ 第一種建設発生土

■ 現場内利用情報

発生量（地山m ³ ）	0.000
用途	
現場内利用量（地山m ³ ）	0.000
現場内利用改良分（地山m ³ ）	0.000
現場外搬出量合計（地山m ³ ）	0.000
再生資源利用促進量（地山m ³ ）	0.000
再生資源利用促進率（%）	0.0

■ 現場外搬出情報

追加

まだ登録がありません。

現場外搬出 第一種建設発生土

搬出先名称	
搬出先住所	
都道府県 *	▼
市区町村 *	▼
地先	
区分	▼
施工条件 *	▼
搬出先種類 *	▼
盛土規制法の確認 *	▼
都道府県等の定める土砂条例の確認 *	▼
盛土規制法、土砂条例による搬出先の適正確認結果 *	

キャンセル
データチェック
確定する

建設発生土の現場外搬出では、施工条件が必須になっています。
 また、搬出先における盛土規制法の確認結果と、都道府県等の定める土砂条例の確認結果について、それぞれ入力が必要になります。搬出先が複数ある場合には、各搬出先について確認結果を入力する必要があります。
 入力が完了したら「データチェック」をクリックし、問題が無ければ「確定する」をクリックしてください。

現場外搬出 第一種建設発生土

施工条件 *	1.指定利用等A
搬出先種類 *	ストックヤード(工事予定地含む)(再利用の目的がある)(国登録ストックヤード)
盛土規制法の確認 *	盛土許可等
都道府県等の定める土砂条例の確認 *	許可不要工事等
盛土規制法、土砂条例による搬出先の適正確認結果 * ※詳細はこちら	盛土許可等
搬出先詳細 *	盛り土規制法第21条届出 令和7年12月1日(東京都) 国土交通省登録ストックヤード第00000000-00000000号
運搬距離(km) *	10
現場外搬出量(地山m ³) *	200.000
改良分(地山m ³)	0.000

キャンセル
データチェック
確定する

◎解説:搬出先に関連する確認について

- ・「盛土規制法の確認」について
搬出先について、盛土規制法に従って確認した結果を登録します。
- ・「都道府県等の定める土砂条例の確認」について
搬出先について、都道府県等で定められている土砂条例に従って確認した結果を登録します。
- ・「盛土規制法、土砂条例による搬出先の適正確認結果」について
上記2項目の内容によって自動反映されます。
- ・「搬出先詳細」について
記入例が表示されますので、参考に入力してください。
確認結果によって、記入例の内容が異なります。

建設資材利用と建設副産物搬出の入力が完了したら、画面上下にあるどちらかの「データチェック」をクリックしてください。入力に不備等がある場合にはエラーが表示されます。

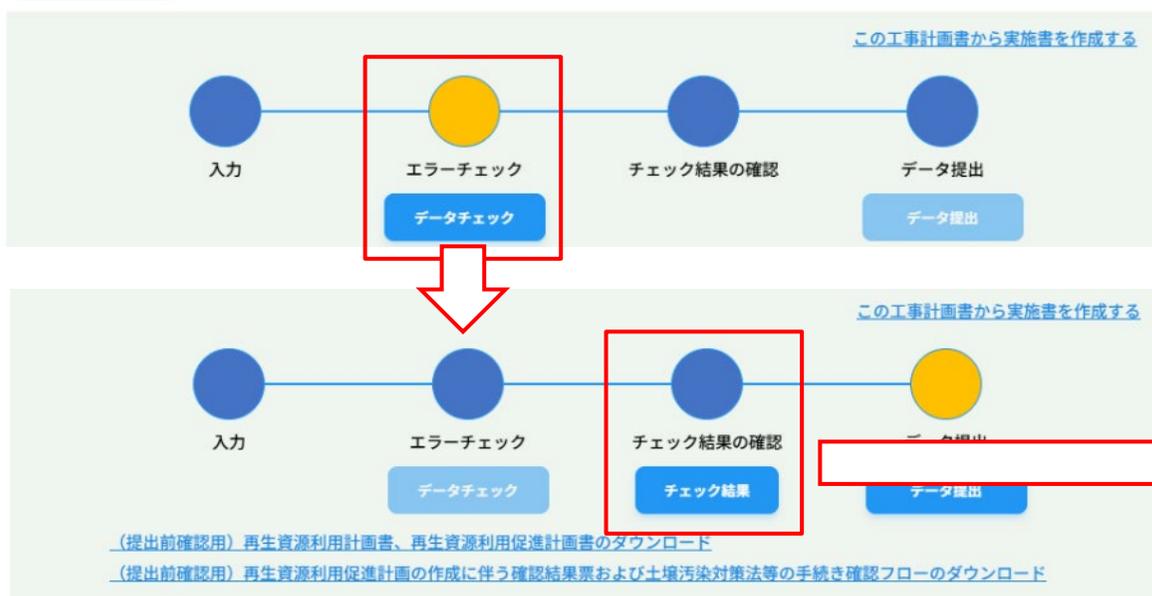
次に、画面上部の「チェック結果」をクリックして、内容を確認してください。問題が無い場合には「受注者」の欄にチェックを入れて、「保存する」をクリックしてください。修正する場合には、入力内容を修正した後に、再度データチェックを行ってください。

◎解説:「チェック結果」の内容について

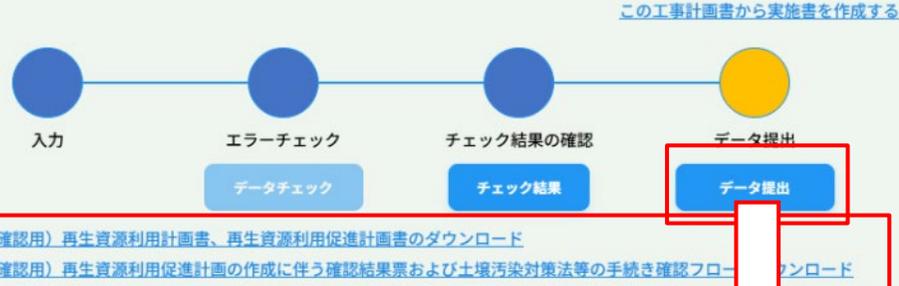
チェック結果の内容は「コブリス・プラス チェック結果項目解説書」を公開していますので、WEBサイトもご確認ください。

<https://fkplus.jacic.or.jp/wp-content/uploads/2025/06/チェック結果項目解説書.pdf>

確認が必要な事項がある場合の表示例



チェック結果			
工事番号	198345519	実施または計画	計画
工事名	【テスト】令和7年度 ○道路工事	請負金額 (万円 (税込))	500
発注担当者名	テスト太郎	工期	2025/12/01-2026/03/31
工事種類	B-2 舗装 (道路)	以下の事項について確認のうえ、データを修正しない場合はチェックを入れてください。	
項目	確認が必要な事項	受注者	発注者
様式1 コンクリート 利用量 (トン) : 50,000,000	原単位 (搬入量 ÷ 請負金額 (500万円)) が基準 (3) 超です。値を再度確認して下さい。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
様式1 コンクリート 再生資源利用率 (%) : 0.0	再生資材利用量に入力もれがないか確認してください。正しければそのまま結構です。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		閉じる	保存する



チェック結果の確認が完了したら、発注者へデータを提出を行います。
 確認用の計画書や確認結果票がダウンロードできるので、提出前にご確認ください。

計画書の提出

発注者へデータを提出しますが、よろしいでしょうか？

※本操作以降、発注者によるデータ確認が可能となります。
 また、発注者へ以下の内容でデータ提出されたことを通知します。

■件名

■宛先*

■CC

テスト太郎様

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
 受注者から建設リサイクルガイドライン様式が提出されました。
 以下のURLよりコブリス・プラスにログインの上、ご確認をお願いいたします。

工事名：【テスト】令和7年度〇〇道路工事
 URL： https://stg.fukusan.jacic.or.jp/fukusan/detail-construction?constructionId=3071050&constructionMode=MAIN&url_passkey=ec3a37edeabcc05d37569d95a364f6c81771241966862b67f6de5540011611c3

※コブリス・プラスにログインしていただき、以下のメニューからもご確認いただけます。
 「建設副産物情報のデータを管理する」
 ・建設リサイクルガイドライン様式・チェックリストの確認」

閉じる

計画書の提出

「データ提出」をクリックすると、データ提出したことを発注者に通知するメールの内容が表示されます。
 宛先に提出先となる発注者のメールアドレスを入力してください。

画面下の「計画書の提出」をクリックすると、計画書が提出され、通知メールも送付されます。

◎解説:「CC」について

自身を含め複数の宛先にメールを送りたい場合には、「CC」の欄にメールアドレスを追加してください。
 2件以上の宛先をCCに入力する場合には、カンマ(,)区切りで最大10件まで追加することができます。

提出した工事データは、「発注者へ提出済みの計画書を確認する」や「担当工事データを確認する」から確認することができます。

メニューをクリックすると、工事の一覧が表示されますので、登録した工事が表示されていることを確認してください。

「工事番号」のリンクをクリックすると工事の詳細画面が表示されます。提出が完了した計画書では、詳細画面で登録済確認書や計画書(現場掲示用)などのファイルもダウンロードができます。

計画書の作成から提出までの操作の流れは以上になります。

建設リサイクル・ガイドライン様式の作成・提出・提出後の変更

・施工計画作成時

- ・ [計画書を新たに作成する](#)
- ・ [類似工事のデータを活用し、計画書を作成する](#)
- ・ [作成途中の計画書を確認・更新する](#)
- ・ [計画書を発注者に提出する](#)
(民間工事の場合は、正式な工事データとして登録)

・計画書の提出後

- ・ [発注者へ提出済の計画書を確認する](#)
- ・ [発注者からの問い合わせがあった計画書を確認する](#)

・工事が完了したら

- ・ [提出済の計画書から実施書を作成する](#) ①
- ・ [実施書を新たに作成する\(計画書が無い場合\)](#)
- ・ [作成途中の実施書を確認・更新する](#)
- ・ [実施書を発注者に提出する](#)
(民間工事の場合は、正式な工事データとして登録)

・実施書の提出後

- ・ [発注者へ提出済の実施書を確認する](#)
- ・ [発注者からの問い合わせがあった実施書を確認する](#)

・担当工事データを確認する

建設発生土情報の更新を指示されている

・発注者から指示された工事を自社の担当工事として紐付ける

※発注者から受信したメール内のURLをクリックできなかった場合はメール本文中の認証コードをこちらから入力して、対象工事を確認し、自社の担当工事として紐付けてください。

- ・ [施工計画上の数量を反映](#)
- ・ [搬出搬入実施後の数量を変更・報告](#)
- ・ [担当工事データを確認する](#)

メニュー > 発注者へ提出済の計画書を確認する

発注者へ提出済の計画書を確認する

絞り込み条件の変更

[絞り込み条件をリセットする](#)

[絞り込み](#)

以下は登録済みのデータを表示

工事番号	実施または計画	年度	提出状況	提出日	発注機関名	工事名
198345519	計画	2025	データ提出	2025/12/26	東京都 建設局	【テスト】令和7年度 道路工事

横スクロールをする場合、スクロールバーを動かすか、Shiftキーを押しながら、マウスホイールを動かしてください

先頭へ 前へ 1 次へ 最後へ (1-1/1) 20 件ずつ表示する

[メニューに戻る](#)

工事が完了すると、今度は実施書を作成して発注者に提出します。
 実施書は、発注者に提出した計画書を引用して作成することができます。
 実施書の作成も、計画書の作成と基本的な手順は変わりません。

建設リサイクル・ガイドライン様式の作成・提出・提出後の変更

・施工計画作成時

- ・計画書を新たに作成する
- ・類似工事のデータを活用し、計画書を作成する
- ・作成途中の計画書を確認・更新する
- ・計画書を発注者に提出する
(民間工事の場合は、正式な工事データとして登録)

・計画書の提出後

- ・発注者へ提出済の計画書を確認する
- ・発注者からの問い合わせがあった計画書を確認する

・工事が完了したら

- ・提出済の計画書から実施書を作成する ①
- ・実施書を新たに作成する (計画書が無い場合)
- ・作成途中の実施書を確認・更新する

建設発生土情報の更新を指示されている

- ・発注者から指示された工事を自社の担当工事として紐付ける
※発注者から受信したメール内のURLをクリックできなかった場合はメール本文中の認証コードをこちらから入力して、対象工事を確認し、自社の担当工事として紐付けてください。
- ・施工計画上の数量を反映
- ・搬出搬入実施後の数量を変更・報告
- ・担当工事の管理

「提出済の計画書から実施書を作成する」をクリックして、実施書を作成するためのものとなる計画書データを選択してください。
 「工事番号」のリンクをクリックして詳細画面に進みます。

メニュー > 提出済の計画書から実施書を作成する

提出済の計画書から実施書を作成する

絞り込み条件の変更

絞り込み条件をリセットする 絞り込み

以下は登録済みのデータを表示

工事番号	実施または計画	年度	提出状況	提出日	発注機関名	工事名
110594576	計画	2025	データ提出	2025/12/26	東京都 建設局	【テスト】令和7年度 道路工事

横スクロールをする場合、スクロールバーを動かすか、Shiftキーを押しながら、マウスホイールを動かしてください

先頭へ 前へ 1 次へ 最後へ (1-1/1) 20 件ずつ表示する

メニューに戻る

詳細画面の右上にある「この工事計画書から実施書を作成する」をクリックしてください。
計画書のデータを引用した実施書が作成されます。

メニュー > 提出済の計画書から実施書を作成する > 【テスト】令和7年度〇〇道路工事

【テスト】令和7年度〇〇道路工事

提出日時 2025/12/26 14:01
更新日時 2025/12/26 14:01 【テスト】副産物センター

計画

この工事計画書から実施書を作成する

この工事情報を利用して新しい計画書を作成する

チェック結果

発注機関へ連絡済みのため
改定する

データ提出の
メール再送信

コブリス・プラス 登録済確認書のダウンロード
再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書のダウ
再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書（現場
再生資源利用促進計画の作成に伴う確認結果票および
工事概要情報（JSON形式）のダウンロード

新しい実施書を作成します。よろしいですか？

キャンセル

登録する

■ 共通情報

工事番号 110594576

◎解説:実施書データについて

計画書から引用して実施書を作成した場合は、計画書と実施書が同じ工事番号になります。これにより、同一工事の計画書と実施書であることが分かります。
また、詳細画面の左上に「計画／実施」タブでデータの表示を切り替えることができます。

メニュー > 提出済の計画書から実施書を作成する > 【テスト】令和7年度〇〇道路工事

【テスト】令和7年度〇〇道路工事

更新日時 2025/12/26 14:52 【テスト】副産物センター

計画

実施

入力

エラーチェック

データチェック

チェック結果の確認

データ提出

データ提出

■ 共通情報

工事番号 110594576

作成年月日 2025/12/26

編集

計画書から内容に変更がある場合には、「編集」ボタンをクリックして、入力内容を更新してください。
また、実施書では計画書に無かった、一部の項目が新たに増えていますので、適宜入力を行ってください。

■ 工事概要

工事区分	公共工事	
工事名	【テスト】令和7年度〇〇道路工事	
施工場所		
都道府県	東京都	
市区町村	港区	
地先	赤坂	
座標（緯度、経度）	35.6712423, 139.7346723	
工事種類	舗装（道路）	
工期	開始	2025/12/01
	終了	2026/03/31
請負・自主施工		
請負金額（万円（税込））	500	
請負金額のうち特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用（万円）		
<input type="text"/>		
再資源化等が完了した年月日		
工事概要等		

■ 工事概要

キャンセル 更新

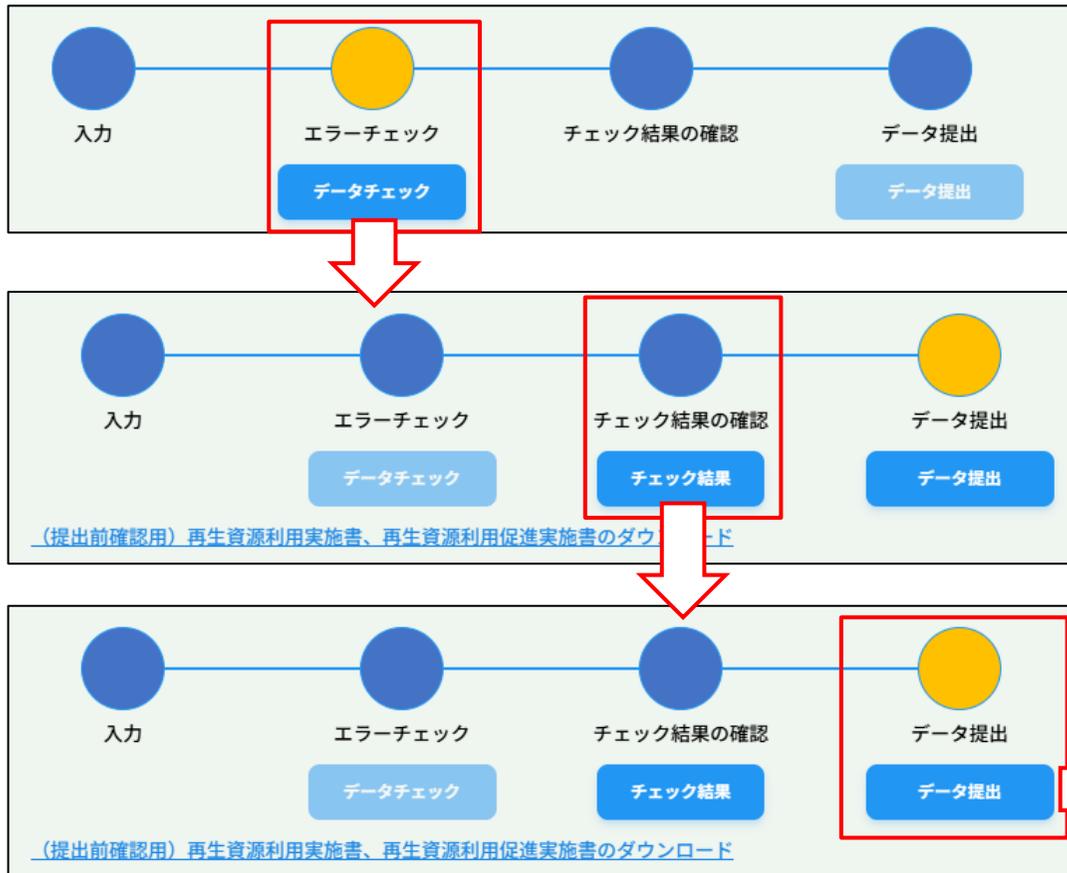
工事区分	公共工事
工事名*	【テスト】令和7年度〇〇道路工事
施工場所	

◎解説:「編集／更新」ボタンについて
 「編集」ボタンは各入力項目グループの右上にあります。
 「編集」ボタンをクリックすると「更新」ボタンに変わり、入力データの更新ができるようになります。
 データの更新が完了したら、「更新」ボタンをクリックして内容を確定してください。

◎解説:「請負金額のうち…再資源化等に要した費用」について
 再資源化等に費用が発生しなかった場合には”0”を入力してください。

更新が完了した後は、計画書と同様に「データチェック」を行い、エラーが無いことや要確認事項を確認してください。
 また、確認用の実施書もダウンロードしてご確認ください。
 問題が無ければ、その後に「データ提出」から発注者への「実施書の提出」を行ってください。

実施書の作成から提出は以上の手順で完了となります。



実施書の提出

*がついている項目は必須項目

発注者へデータを提出しますが、よろしいでしょうか？

※本操作以降、発注者によるデータ確認が可能となります。
 また、発注者へ以下の内容でデータ提出されたことを通知します。

■件名 【テスト送信】【コプリス・プラス】建設リサイクルガイドライン様式提出のお知らせ

■宛先* メールアドレスを入力してください

■CC メールアドレスを入力してください

テスト太郎様

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
 受注者から建設リサイクルガイドライン様式が提出されました。
 以下のURLよりコプリス・プラスにログインの上、ご確認をお願いいたします。

工事名：【テスト】令和7年度〇〇道路工事
 URL： https://stg.fukusan.jacic.or.jp/fukusan/detail-construction?constructionId=3071072&constructionMode=MAIN&url_passkey=f23825a7318ae55df84ffad4a2e6cfc1baad267f3a9467d2a25502528b28549d

※コプリス・プラスにログインしていただき、以下のメニューからご確認いただけます。
 「建設副産物情報のデータを管理する」
 ・建設リサイクルガイドライン様式・チェックリストの確認」

■コプリス・プラスをご利用いただいていない発注機関の皆様へ■
 コプリス・プラスでは、受注者による工事データ登録の際に、発注機関の工事担当者のメールアドレスの入力を必須としています。

閉じる 実施書の提出

発注者に提出した計画書や実施書について、発注者から修正指示がある場合などは、改版操作を行うことで修正することができます。
 改版操作をすると工事データの再提出が必要になります。
 そのため、改版操作にあたっては、事前に発注者に連絡してください。
 最初に、改版したい計画書や実施書を「担当工事データを確認する」から探します。

建設リサイクル・ガイドライン様式の作成・提出・提出後の変更

- ・ 施工計画作成時
 - ・ [計画書を新たに作成する](#)
 - ・ [類似工事のデータを活用し、計画書を作成する](#)
 - ・ [作成途中の計画書を確認・更新する](#)
 - ・ [計画書を発注者に提出する](#)
(民間工事の場合は、正式な工事データとして登録)
- ・ 計画書の提出後
 - ・ [発注者へ提出済の計画書を確認する](#)
 - ・ [発注者からの問い合わせがあった計画書を確認する](#)
- ・ 工事が完了したら
 - ・ [提出済の計画書から実施書を作成する](#)
 - ・ [実施書を新たに作成する \(計画書が無い場合\)](#)
 - ・ [作成途中の実施書を確認・更新する](#)
 - ・ [実施書を発注者に提出する](#)
(民間工事の場合は、正式な工事データとして登録)
- ・ 実施書の提出後
 - ・ [発注者へ提出済の実施書を確認する](#)
 - ・ [発注者からの問い合わせがあった実施書を確認する](#)

建設発生土情報の更新を指示されている

- ・ [発注者から指示された工事を自社の担当工事として紐付ける](#)
※発注者から受信したメール内のURLをクリックできなかった場合はメール本文中の認証コードをこちらから入力して、対象工事を確認し、自社の担当工事として紐付けてください。
- ・ [施工計画上の数量を反映](#)
- ・ [搬出搬入実施後の数量を変更・報告](#)
- ・ [担当工事データを確認する](#)

改版したい工事の「工事番号」をクリックして
 詳細画面を開いてください。

メニュー > 担当工事データを確認する

担当工事データを確認する

[絞り込み条件の変更](#)

[絞り込み条件をリセットする](#) [絞り込み](#)

以下は登録済みのデータを表示

工事番号	実施または計画	年度	提出状況	提出日	発注機関名	工事名	都道府県
110594576	実施	2025	データ提出	2025/12/26	東京都 建設局	【テスト】令和7年度〇〇 道路工事	東京都
110594576	計画	2025	データ提出	2025/12/26	東京都 建設局	【テスト】令和7年度〇〇 道路工事	東京都

横スクロールをする場合、スクロールバーを動かすか、Shiftキーを押しながら、マウスホイールを動かしてください

先頭へ 前へ 1次へ 最後へ (1-2/2) 20 件ずつ表示する

[メニューに戻る](#)

メニュー > 担当工事データを確認する > 【テスト】令和7年度〇〇道路工事

【テスト】令和7年度〇〇道路工事

提出日時 2025/12/26 16:08
更新日時 2025/12/26 16:08 【テスト】副産物センター

計画 実施

チェック結果 発注機関へ連絡済みのため改版する データ提出のメール再送信

コプリス・プラス 登録済確認書のダウンロード

提出済みの工事情報を改版します。発注機関へは連絡済みでしょうか？

キャンセル 改版する

「発注機関へ連絡済みのため改版する」をクリックして、「改版する」を行います。
改版の画面に進むと、画面左上に「〇回目の提出」と表示されるようになり、過去に提出したデータの履歴が確認できます。

修正したい箇所を更新し、データチェックとチェック結果の確認で問題ないことを確認したら、データ提出を行ってください。
この手順は計画書や実施書の作成と変わりません。

メニュー > 担当工事データを確認する > 【テスト】令和7年度〇〇道路工事

【テスト】令和7年度〇〇道路工事

更新日時 2025/12/26 16:43 【テスト】副産物センター

計画 実施

2回目の提出

入力 エラーチェック チェック結果の確認 データ提出

データチェック データ提出

編集

■ 共通情報

工事番号 110504576

◎解説:改版中のデータについて
改版操作は受注者、発注者双方で行うことができますが、受注者が改版中のデータは、発注者側では改版することはできません。

コブリス・プラスでは、建設副産物の搬出先や建設資材の搬入元となる、処理施設の情報を検索することができます。メニューの「処理施設等の搬出先・搬入元を調べる」をクリックすると、検索の地図画面が表示されます。

建設リサイクル・ガイドライン様式の作成・提出・提出後の変更

- ・施工計画作成時
 - ・計画書を新たに作成する
 - ・類似工事のデータを活用し、計画書を作成する
 - ・作成途中の計画書を確認・更新する
 - ・計画書を発注者に提出する
(民間工事の場合は、正式な工事データとして登録)
- ・計画書の提出後
 - ・発注者へ提出済の計画書を確認する
 - ・発注者からの問い合わせがあった計画書を確認する
- ・工事が完了したら
 - ・提出済の計画書から実施書を作成する
 - ・実施書を新たに作成する(計画書が無い場合)
 - ・作成途中の実施書を確認・更新する
 - ・実施書を発注者に提出する
(民間工事の場合は、正式な工事データとして登録)
- ・実施書の提出後
 - ・発注者へ提出済の実施書を確認する
 - ・発注者からの問い合わせがあった実施書を確認する
- ・担当工事データを確認する

建設発生土情報の更新を指示されている

- ・発注者から指示された工事を自社の担当工事として紐付ける
※発注者から受信したメール内のURLをクリックできなかった場合はメール本文中の認証コードをこちらから入力して、対象工事を確認し、自社の担当工事として紐付けてください。
- ・施工計画上の数量を反映

処理施設等の搬出先・搬入元を調べる

条件を隠す 自工事を選んで起点にする 任意の場所を起点にする

終点の条件▼
処理施設一覧

校正対象
 提出(登録)済みの計画書から探す
 一時保存中の計画書から探す

工事名
工事名の一部を入力してください

竣工
自: 2025年04月
至: 2031年03月

工事種類 設定

■工事一覧(自工事)

該当データがありません。

凡例: ■ 自工事 ■ 複数の工事 ■ 再資源化施設 ■ 最終処分場 ■ 発生土受入施設 ■ 複数の事業所 ■ 再資源化施設&最終処分場

建設副産物家数調査(センサス)・モニタリング調査のデータを管

最初に検索場所の起点を指定します。起点には自社で登録した工事場所や地図上から任意の場所を指定できます。「**■自工事を選んで起点にする**」とした場合、工事の条件を指定して「絞り込む」をクリックしてください。

右下に工事一覧が表示されるので、起点とする工事をクリックしてください。「**■任意の場所を起点にする**」とした場合、住所を入力するか、地図上の任意の場所をクリックして指定してください。

処理施設等の搬出先・搬入元を調べる

条件を固す

自工事を選んで起点にする
 任意の場所を起点にする

提出（登録）済みの計画書から探す
 一時保存中の計画書から探す

工事名

竣工 自 至

工事種類 設定

絞り込む

■工事一覧（自工事）

工事番号	工事名
110594576	【テスト】令和7年度〇〇道路工事

横スクロールをする場合、スクロージャーを動かすか、Shiftキーを押しながら、マウスホイールを動かしてください

先頭へ 前へ 1次へ 最後へ (1-1/1)

20 件ずつ表示する 一覧を隠す

凡例： ■ 自工事 ■ 複数の工事 ■ 再資源化施設 ■ 最終処分場 ■ 発生土受入施設 ■ 複数の事業所 ■ 再資源化施設&最終処分場

起点を指定すると、半径50km以内の処理施設の一覧が表示されます。
必要に応じて条件を指定して処理施設を絞り込んでください。

◎解説:「条件を隠す」ボタンについて
地図上に重なって表示されるウィンドウは「条件を隠す」ボタンをクリックすると折りたたむことができます。地図が見えにくい場合などにご利用ください。

メニュー > 処理施設等の搬出先・搬入元を調べる
処理施設一覧

処理施設等の搬出先・搬入元を調べる

条件を隠す ■ 自工事を選んで起点にする ■ 任意の場所を起点にする

絞込対象 ● 提出（登録）済みの計画書から探す
○ 一時保存中の計画書から探す

工事名 工事名の一部を入力してください

竣工 自 2025年04月
至 2031年03月

工事種類 設定

絞り込む

条件を隠す ■ 処理施設を絞り込む

都道府県 ▼

市区町村 ▼

地先 例：赤坂5-2-20

施設種類 設定

受入品目 設定

販売品目 設定

半径 (km) 50 ▼

情報登録者 ▼

絞り込む

直線距離の近い順に表示しております（さらに探す場合には一覧のページを変更してください）

出力	法人名	事業所名
<input type="checkbox"/>	建設副産物情報センター	【テスト用】JACICリサイクルセンター
<input type="checkbox"/>	建設副産物情報センター	【テスト用】JACICリサイクルセンター
<input type="checkbox"/>	建設副産物情報センター	【テスト用】JACICリサイクルセンター
<input type="checkbox"/>		株式会社テスト処理施設事業所
<input type="checkbox"/>	建設副産物情報センター	【テスト】ジャシック処理事業所センター
<input type="checkbox"/>	建設副産物情報センター	【テスト】ジャシック処理事業所センター

横スクロールをする場合、スクロールバーを動かすか、Shiftキーを押しながら、マウスホイールを動かしてください

先頭へ 前へ 1 2 3 4 次へ 最後へ (1-20/437)

20 件ずつ表示する 一覧を隠す

凡例：■ 自工事 ■ 複数の工事 ■ 再資源化施設 ■ 最終処分場 ■ 発生土受入施設 ■ 複数の事業所 ■ 再資源化施設&最終処分場

処理施設を選択すると、道のりと終点までの距離や時間が表示されます。
 「処理施設一覧」ボタンでは、一覧表をエクセルファイルとして出力することができます。
 事業所名をクリックすると処理事業所の詳細も確認することができます。

メニュー > 処理施設等の搬出先・搬入元を調べる

処理施設等の搬出先・搬入元を調べる

凡例: 自工事 複数の工事 再資源化施設 最終処分場 発生土受入施設 複数の事業所 再資源化施設&最終処分場

処理施設一覧
処理施設一覧 (チェックしたものを出力)

直線距離の近い順に表示しております (さらに探す場合には一覧のページを変更してください)

出力	法人名	事業所名
<input type="checkbox"/>	建設副産物情報センター	【テスト用】JACICリサイクルセンター
<input type="checkbox"/>	建設副産物情報センター	【テスト用】JACICリサイクルセンター
<input checked="" type="checkbox"/>	建設副産物情報センター	【テスト用】JACICリサイクルセンター
<input type="checkbox"/>	利用規約テスト	
<input type="checkbox"/>	利用規約テスト	

■処理事業所

法人名	建設副産物情報センター
事業所名	【テスト用】JACICリサイクルセンター
所在地	東京都港区赤坂5丁目
担当者	
電話番号	090-1234-5689
FAX番号	090-1234-4567
メールアドレス	
ホームページ	

■処理施設

施設名	テスト汚泥処理施設
-----	-----------

閉じる

◎解説:処理施設の情報について
 処理施設の情報は、処理業者自身や地方整備局、都道府県といった発注機関が登録した情報です。
 最新の情報については、処理施設に直接お問い合わせください。

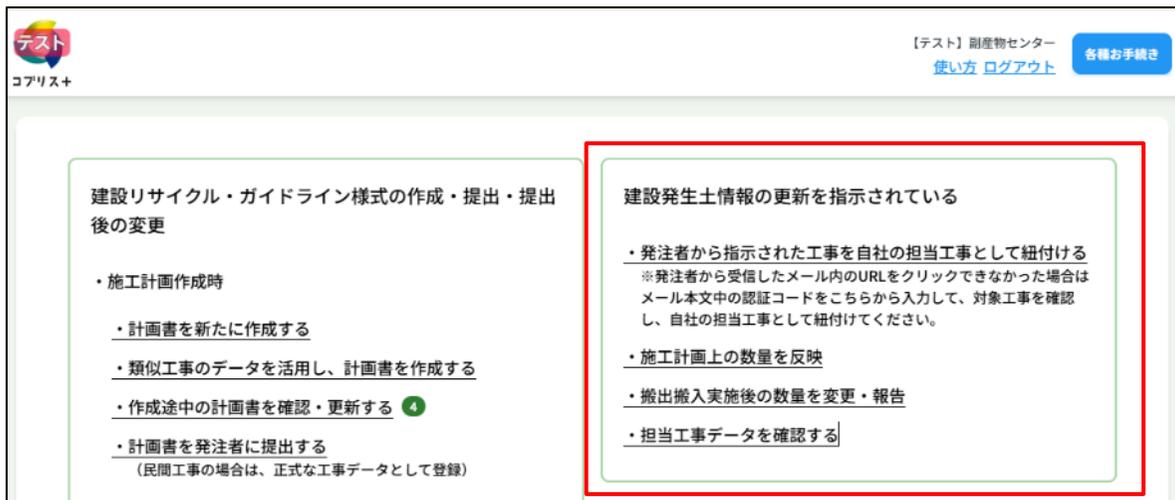
ここまでは、コブリス・プラスにおける計画書・実施書の作成から提出、処理施設の検索について説明しましたが、この他にも以下のような機能があります。

《建設発生土機能》

建設発生土機能は主に国の工事発注者が利用する機能ですが、発注者は受注者に対して土量情報の更新を依頼することができます。

コブリス・プラスを通じて、発注者から以下のような依頼メールが送付された場合には、メール内のリンクをクリックするか、ログイン後の右側のメニューから認証コードを入力して、土量情報の更新を行なってください。

メール件名: 【コブリス・プラス】建設発生土 土量情報更新のための認証コードのお知らせ



建設発生土情報の更新を指示されている

- 発注者から指示された工事を自社の担当工事として紐付ける
※発注者から受信したメール内のURLをクリックできなかった場合はメール本文中の認証コードをこちらから入力して、対象工事を確認し、自社の担当工事として紐付けてください。
- 施工計画上の数量を反映
- 搬出搬入実施後の数量を変更・報告
- 担当工事データを確認する



【テスト送信】【コブリス・プラス】建設発生土 土量情報更新のための…

コブリス・プラス (STG) <fk_info_stg@jacic.or.jp>
宛先 sugihara.k@jacic.or.jp

テスト太郎 様

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
以下の工事の発注者から貴社に対して、建設発生土の土量情報を更新するための認証コードが通知されました。
以下の URL よりコブリス・プラスにアクセスし、土量情報の更新をお願いいたします。

URL : https://stg.fukusan.jacic.or.jp/hasseido/input-construction?code=W670124097R&url_passkey=d18d5ef980401909e3eb3e043cc322f4

工事名: 【テスト】●●工事
認証コード: W670124097R

※コブリス・プラスへのログインが必要です

《官民マッチング機能》

自社で発注または受注した民間工事で、建設発生土の搬出・搬入がある場合に、建設発生土の利用調整先としてコブリス・プラスに登録されている公共工事や民間工事を探ることができる機能です。

民間工事と公共工事の間で建設発生土の利用調整を目的とした機能ですので、公共工事同士での建設発生土の利用調整には利用できません。

変更申込等で「官民マッチングの利用」を申し込みすることで、メニューに「官民マッチング」のタブが表示されるようになります。無料の機能になります。

The interface is divided into several sections:

- Navigation:** Includes tabs for '工事の担当者として使う場合', '自社のデータを取りまとめる場合', and '官民マッチング'.
- Left Panel (Public Works and Adjustment):**
 - ・ 工事間利用調整
 - ・ 民間工事の建設発生土情報の工事追加手続き
 - ・ 民間工事の土量情報の登録・更新の手続き
 - ・ 公共工事と調整
 - ・ 民間工事と調整
 - ・ 発生土の搬出先・搬入元（受入施設等）を探す
 - ・ 民間工事の実績登録およびマッチング結果を提出
 - ※土量が発生した場合、成立可否にかかわらず、マッチング必ず提出してください
 - ・ 不備があったマッチング結果を修正する
 - ・ 担当工事データを確認する
- Map Section (Public Works and Adjustment):**
 - Map title: 公共工事と調整
 - Buttons: 条件を隠す, 自白工事を選んで起点にする, 任意の場所を起点にする
 - Filter: 搬出先 (搬出, 搬入)
 - Filter: 都道府県
 - Filter: 市区町村
 - Filter: 地先 (例: 赤坂5-2-20)
 - Filter: 利用調整状況 (利用調整未実施, 工事間利用調整中, 工事間利用決定)
 - Filter: 土工期 (自: 2025年04月, 至: 2031年03月)
- Right Panel (Private Work Information):**
 - Menu: 民間工事の建設発生土情報の工事追加手続き
 - Title: 工事情報 (民間工事)
 - Section: ■ 利用調整のための連絡先
 - Form fields:
 - 登録組織名: 【テスト】(株)〇〇道路設備
 - 部署*: 工務部
 - 役職: 例: 課長

《取りまとめID機能》

支店等で複数のユーザーIDを利用している場合、それぞれのユーザーIDで登録された工事情報を、1つのユーザーIDで確認・集計できるようになる機能です。

通常のユーザーIDは、そのユーザーIDで登録した工事情報のみを扱いますが、取りまとめIDでは複数のユーザーIDで登録した工事情報をまとめて扱うことができます。

変更申込等で「取りまとめ」を申し込みすることで、メニューに「自社のデータを取りまとめる場合」のタブが表示されるようになります。有料の機能になります。

工事の担当者として使う場合
自社のデータを取りまとめる場合
官民マッチング

- ・(副産物) 自社が担当している工事を確認する
- ・(発生土) 自社が登録した官民マッチング用の土量(民間工事)を確認する

- ・(副産物) 自社あるいは外部サービスとAPI連携をする

建設副産物実態調査(センサス)・モニタリング調査のデータを管理する

- ・分析(集計表の出力)

メニュー > (副産物) 自社が担当している工事を確認する

(副産物) 自社が担当している工事を確認する

絞り込み条件の変更
絞り込み

絞り込み条件をリセットする
絞り込み

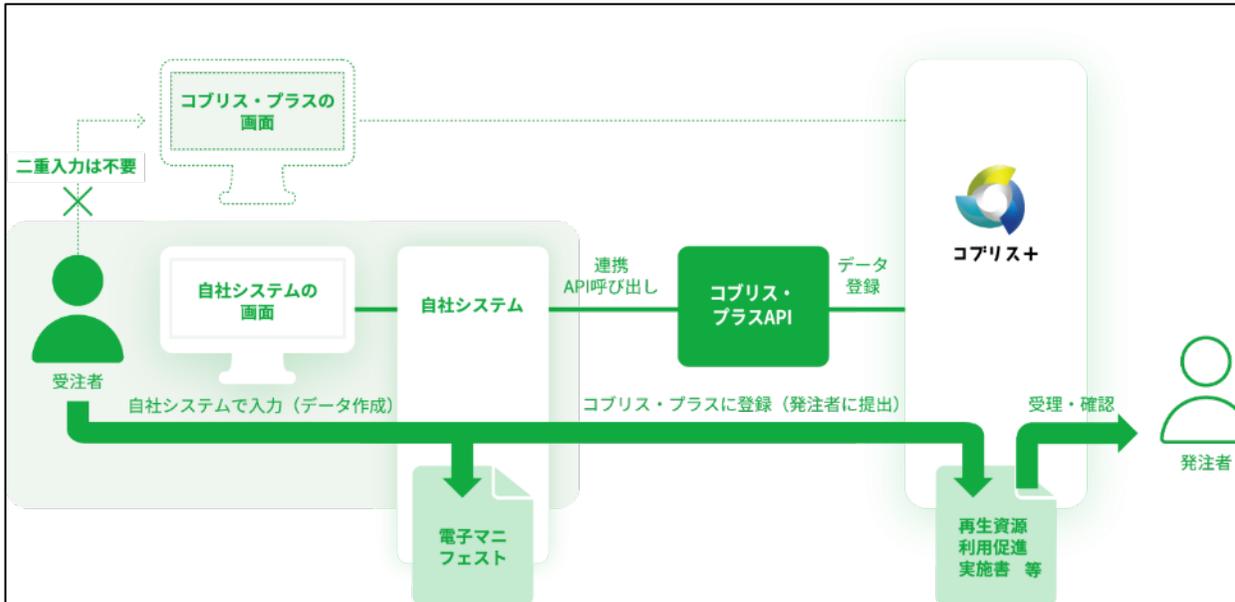
以下は登録済みのデータを表示

工事番号	実施または計画	年度	提出状況	提出日	発注機関名	請負会社名	工事名
071176811	計画	2025	発注者確認済	2025/8/28	仙台市 建設局	【テスト】(株)〇〇道路設備	【テスト】〇〇工事250630
198408545	実施	2025	発注者確認済	2025/8/28	仙台市 建設局	【テスト】(株)〇〇道路設備	【テスト】〇〇工事250630
377815179	計画	2025	問い合わせあり	2025/9/19	仙台市 建設局	【テスト】(株)〇〇道路設備	【テスト】〇〇工事250630
506276178	計画	2025	発注者確認済	2025/8/26	仙台市 建設局	【テスト】(株)〇〇道路設備	【テスト】〇〇工事250630
571528278	計画	2025	データ提出	2025/9/25	仙台市 建設局	【テスト】(株)〇〇道路設備	【テスト】〇〇工事250630

《コブリス・プラスAPI》

自社システムで作成した電子マニフェスト等のデータから、APIを介してコブリス・プラスへの計画書・実施書のデータ登録を可能とする機能です。ご利用を希望する場合は、問合せフォームからご連絡ください。

また、コブリス・プラスAPIは(株)リバスタ社にもご利用いただいております。(株)リバスタ社が提供する「e-reverse.com」では「再生資源利用促進支援サービス」を利用することで、コブリス・プラスとデータ連携することが可能です。こちらについては、(株)リバスタ社にお問い合わせください。



RVSTA
株式会社リバスタ

e-reverse.com サービス ニュースリリース

2025年11月4日

NEWS

リバスタ、「e-reverse.com」上で「再生資源利用〔促進〕計画書」等の書類作成が可能になるオプション「再生資源利用促進支援サービス」を提供開始

～JACIC提供の「コブリス・プラス」との連携により、書類作成業務の負担を軽減。ASP事業者として初の連携が実現～

株式会社リバスタ（本社：東京都江東区、代表取締役：高橋巧、以下当社）は、当社が提供する電子マニフェストサービス「e-reverse.com」上で、資源有効利用促進法に基づく「再生資源利用〔促進〕計画書、および実施書」（以下計画書・実施書）（※1）の書類作成が可能になるオプション「再生資源利用促進支援サービス」（以下本サービス）（※2）を本日より提供開始することをお知らせします。

本サービスは、「e-reverse.com」上で計画書・実施書の作成、一元管理が可能となります。作成した情報は、一般財団法人日本建設情報総合センター（所在地：東京都港区、理事長：山田邦博、以下JACIC）が提供する「コブリス・プラス」へ連携されるため、計画書・実施書の作成から提出までの業務負担が軽減されます。なお、「コブリス・プラス」において、ASP事業者との連携は当社が初となります。

e-reverse.com

コブリス・プラスの説明会にご参加いただきありがとうございました。
今回の説明会の内容は、今後WEBサイトでも公開を予定しております。

コブリス・プラスのWEBサイトでは、最新の情報を随時発信しております。
マニュアルとなる「コブリス・プラスの使い方」やFAQも公開していますので、ご活用ください。
また、操作などに関するご質問がありましたら、お問い合わせフォームでも受け付けております。

最後に今回の説明会に関するアンケートをお配りしていますので、ご記入をお願いいたします。
今後ともコブリス・プラスをよろしくお願いいたします。



The screenshot shows the homepage of the Kobris Plus website. At the top left is the Kobris Plus logo. In the top right, there is the JACIC logo (一般財団法人 日本建設情報総合センター) and a green 'ログイン' (Login) button. Below the header is a navigation menu with links: コブリス・プラスとは, 使い方, 利用料金, 利用規約, お知らせ, FAQ, お問い合わせ, and 利用申込み・各種手続き. The main content area features a green background with a forest scene. A central text block reads: より良い自然環境のために、建設資源の有効活用を推進します。 Below this is a white button labeled 'コブリス・プラスとは'. To the left, a laptop displays the Kobris Plus logo on its screen. At the bottom, there is a '重要なお知らせ' (Important Notice) section with a 'New' tag and a right-pointing arrow. The notice text includes: 【受注者の皆様へ】2026年度コブリス・プラス継続利用の申込受付を開始しました。 and 利便性向上等のためコブリス・プラスの改良を行いました。(2025年12月12日改良)



コブリス・プラスWEBサイト
<https://fkplus.jacic.or.jp/>